

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 東和薬品 株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号	
本票作成	部署名：生産本部 岡山工場 工務部 動力課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医療用医薬品(ジェネリック医薬品)の製造・販売(固形剤、注射剤) 従業員：1,830人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		勝田郡勝央町太平台34番2号	
	②	西日本物流センター		勝田郡勝央町太平台84番	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 2ヶ所 ●車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	7,230 t CO ₂	10,059 t CO ₂	10,841 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	岡山工場	9,671 t CO ₂
	②	西日本物流センター	388 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)	
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25)年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	6.3 %	5.0 % <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原料使用量 (t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25)年度	目標年度
		12.34	11.56	11.72
	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

CO₂排出量は増加したが、それ以上に製造量が増加したため、原単位は大きく改善できた。今後も製造量は増える計画である為、原単位が悪化しないよう設備稼働率の向上やエネルギーのムダ・ムラを無くしていく。また設備投資の際には省エネ、環境を考慮し進めている。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づき管理体制（全社的な省エネ委員会）を整備し、省エネ・節電に取り組んでいる。
- ・岡山工場と西日本物流センターで環境省エネ委員会（1回/月）を実施。
また、省エネ事務局を設置し事務局による、省エネ推進や法対応を実施。
- ・各課で省エネパトロール（チェックシートによる自己点検）を実施している（1回/2ヶ月）
- ・全体会議や掲示板でエネルギー使用量や原単位推移などの情報を随時公開し省エネを推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(H25年度実施分) 岡山工場, 西日本物流センター	(H25年度実施分) ・エアコンの室内温度の緩和。（冷房28℃ 暖房20℃） ・エアコンフィルターの清掃。 ・不要照明やエアコンのOFF。 ・OA機器, PCの省エネ設定, 離席時のモニタOFF。
岡山工場	・製造エリア空調機の温湿度設定を管理範囲内で緩和。 ・不要空調の停止および運用改善。 ・デマンド監視による, 節電啓発。 ・倉庫棟照明LED化（CO2削減量30t/年） ・ターボ冷凍機冷却水ポンプのインバータ化（CO2削減量34t/年）
(今後実施予定分) 岡山工場, 西日本物流センター	(今後実施予定分) ・引き続き省エネ活動を推進。 ・新設, 更新時はインバータ化や高効率化（LED化）など環境や省エネを配慮した設備, 機器構成を導入（検討）。
岡山工場	・高効率コンプレッサーの採用, 台数制御改善（CO2削減量40t/年） ・倉庫棟 高効率エアコンの採用（CO2削減量6t/年） ・新棟 省エネ機器の採用（CO2削減量107t/年） ・包装棟 エアコン更新（CO2削減量400t/年） ・各ユーティリティーへ計測器の設置

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	西日本物流センターに太陽光発電設備を設置 2343kW 全量売電 443kw（2012年11月） 1500kW（2014年 1月） 余剰売電 400kW（2012年5月）
その他	無	

【その他特記事項】

東和薬品として全社的な取組み事項	
●	経団連が取組む低炭素社会実行計画へ参加。 目標【2005年度比、2020年度のCO2排出量を売上高原単位で23%削減】
●	全国的な電力不足を考慮し、自主的に夏冬の節電に取り組んでいる。 （各事業所で節電行動計画の策定）
●	環境省が実施している「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に参加。